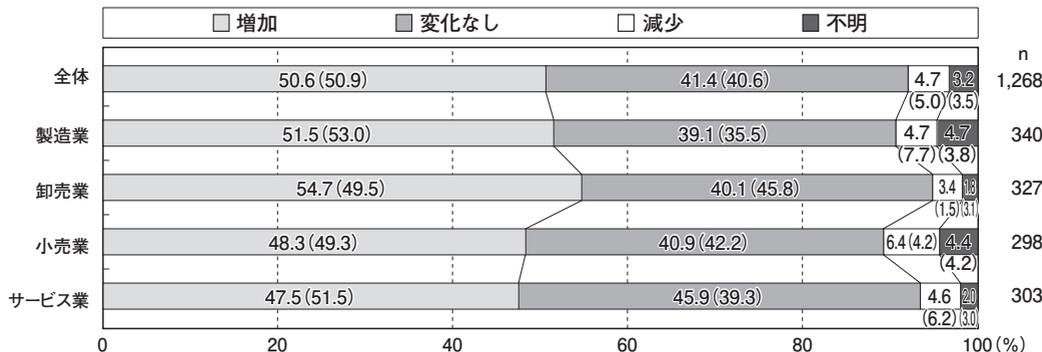


事業活動におけるコストの変動

1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した2024年（令和6年）11月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体でみると、「増加」が50.6%（前回調査50.9%）と最も高く、「変化なし」が41.4%（同40.6%）、「減少」が4.7%（同5.0%）の順で続いた。

図表2 コストの変化（前年同月比）



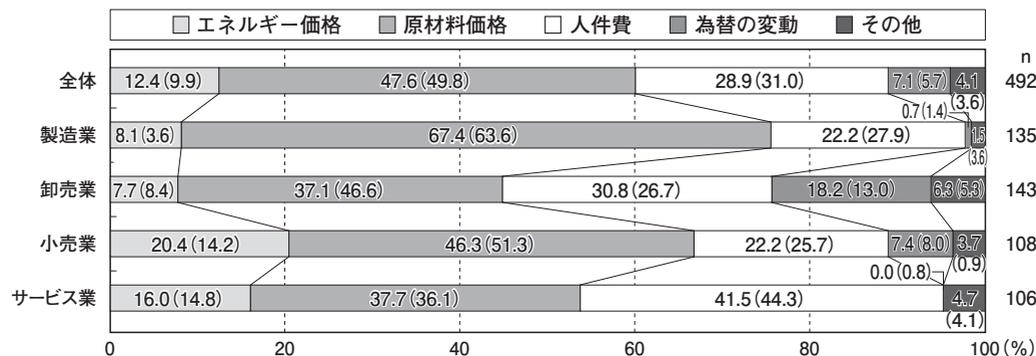
注) 無回答を除き集計。()内は前回調査(令和6年11月)の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体でみると、「原材料価格」が47.6%（前回調査49.8%）と最も高く、「人件費」が28.9%（同31.0%）、「エネルギー価格」が12.4%（同9.9%）、「為替の変動」が7.1%（同5.7%）の順で続いた。

業種別にみると、製造業は「原材料価格」が67.4%（同63.6%）と最も高い。他の業種に比べて卸売業は「為替の変動」の18.2%（同13.0%）、小売業は「エネルギー価格」の20.4%（同14.2%）、サービス業は「人件費」の41.5%（同44.3%）がそれぞれ高い。

図表3 コスト増加の最大の要因



注) コストの変化（前年同月比）(図表2)で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。
()内は前回調査(令和6年11月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。